

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-285189
(43)Date of publication of application : 03.10.2002

(51)Int.Cl. C11B 9/00

(21)Application number : 2001-375331 (71)Applicant : KANEBO LTD
(22)Date of filing : 10.12.2001 (72)Inventor : KUBOTA MASAO
KOMAKI RYOICHI
YOSHIDA TOMOYUKI

(30)Priority
Priority number : 2001007324 Priority date : 16.01.2001 Priority country : JP

(54) PERFUMERY COMPOSITION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a perfumery composition enabling recollecting a clean cotton cloth after washing and drying, and capable of imparting improved comfortability.

SOLUTION: The perfumery composition contains one or more kinds of components selected from a group consisting of 5-15C saturated or unsaturated aldehydes, ketones and alcohols, and 5-19C saturated or unsaturated fatty acids, and at least one perfume selected from the group A. The group A: terpineols, terpinyl acetate, cepionate, methyl dihydrojasmonate, indole, 2-methyl-3-(3,4- methylenedioxyphenyl)propanal, hydroxycitronellal, hydroxycitronellol, p-t- butyl- α -methylhydrocinnamic aldehyde, 4-(4-hydroxy-4-methylpentyl)-3- cyclohexene-1-carboxy aldehyde, 3-methyl-5-phenylpentanol and others.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-285189

(P2002-285189A)

(43)公開日 平成14年10月3日 (2002.10.3)

(51)Int.Cl.¹
C 11 B 9/00

識別記号

F I
C 11 B 9/00

テ-マ-ト²(参考)

A 4 H 0 5 9
C
D
J
L

審査請求 未請求 請求項の数2 O.L (全8頁) 最終頁に統く

(21)出願番号 特願2001-375331(P2001-375331)
(22)出願日 平成13年12月10日 (2001.12.10)
(31)優先権主張番号 特願2001-7324(P2001-7324)
(32)優先日 平成13年1月16日 (2001.1.16)
(33)優先権主張国 日本 (JP)

(71)出願人 000000952
カネボウ株式会社
東京都墨田区墨田五丁目17番4号
(72)発明者 鎌田 正男
神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 カ
ネボウ株式会社化粧品研究所内
(72)発明者 駒木 亮一
神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 カ
ネボウ株式会社化粧品研究所内
(72)発明者 吉田 優幸
東京都中央区日本橋富沢町11-5 ひとつセ
ンシング株式会社内

最終頁に統く

(54)【発明の名称】 香料組成物

(57)【要約】

【課題】洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起でき、かつ心地よさ向上させることのできる香料組成物を提供する。

【解決手段】炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のアルデヒド、ケトン及びアルコール並びに炭素数5～19の飽和又は不飽和の脂肪酸からなる群より選ばれる1種以上の成分と、下記A群より選択される少なくとも1種以上の香料とを含有する洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる香料組成物。

A群) ターピネオール、ターピニルアセテート、セピオネット、メチルジヒドロジャスモネット、インドール、2-メチル-3-(3,4-メチレンジオキシフェニル)-プロパナール、ヒドロキシシトロネラール、ヒドロキシシトロネロール、p-t-ブチル- α -メチルヒドロシンナミックアルデヒド、4-(4-ヒドロキシ-4-メチル-ベンチル)-3-シクロヘキセン-1-カルボキシアルデヒド、3-メチル-5-フェニルペンタノール他

【特許請求の範囲】

【請求項1】 炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のアルデヒド、ケトン及びアルコール並びに炭素数5～19の飽和又は不飽和の脂肪酸からなる群より選ばれる1種以上の成分と、下記A群より選択される少なくとも1種以上の香料とを含有する洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる香料組成物。A群) ターピネオール、ターピニルアセテート、セピオネット、メチルジヒドロジャスマネート、インドール、2-メチル-3-(3,4-メチレンジオキシフェニル)-ブロバナール、ヒドロキシシトロネラール、ヒドロキシシトロネロール、p-t-ブチル- α -メチルヒドロシンナミックアルデヒド、4-(4-ヒドロキシ-4-メチルベンチル)-3-シクロヘキセン-1-カルボキシアルデヒド、3-メチル-5-フェニルベンタノール、フェニルエチルアルコール、 α -ヨノン、 β -ヨノン、 α -メチルヨノン、ジヒドロ- β -ヨノン、ベンジルサリチレート、シス-3-ヘキセニルサリシレート、オイゲノール、シンナミックアルコール、シンナミックアルデヒド、グアイオールアセテート、グアイオール、セドレニルアセテート、セドリルメチルケトン、6,7-ジヒドロ-1,1,2,3,3-ペンタメチル-4(5H)-インダン、ベチバーアセテート、3-メチル-5-(2,3,3-トリメチル-3-シクロベンテン-1-イル)-ベンタン-2-オール、2-エチル-4-(2,3,3-トリメチル-3-シクロベンテン-1-イル)-2-ブテン-1-オール、イソボルニルシクロヘキサンオール、ヘリオトロビン、クマリン、バニリン、エチルバニリン、ムスコン、エチレンブラシレート、4,6,6,7,8,8-ヘキサメチル-1,3,4,6,7,8-ヘキサハイドロシクロベンタベンゾピラン、シクロベンタデカノリッド、アンブレットライド、 γ -ウンデカラクトン、 γ -デカラクトン、4-(4-ヒドロキシフェニル)-2-ブタノン、ムスクケトン、スカトール、シスジャスモン、フェニルエチルアセテート、シベトン、 γ -ノナラクトン、 α -サンタロール、 β -サンタロール、オイゲニルアセテート、 α -ヘキシリシンナミックアルデヒド、 α -ダマスコン、 β -ダマスコン、 β -ダマセノン、 δ -ダマスコン、ローズアブソリュート、ローズオイル、サンダルウッドオイル、ラブダナムアブソリュート、シストアブソリュート、ベチバーオイル、ガヤックウッドオイル。

【請求項2】 アロマテラピー用である請求項1記載の香料組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、香料組成物に関し、詳しくは、洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる香気を持ち、かつ心地よさを向上させることのできる香料組成物に関する。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】現代社会には様々なストレスがあり、それらを解消するために様々な試みがなされている。香りの持つストレスを緩和効果についても着目され、近年香りの心理生理効果について様々な検討がなされている。

【0003】これまでに天然精油及び単体の合成香料についてはこれまでに多くの心理生理測定が行われ、ストレス軽減や鎮静効果を持つものとして、特開平10-204473号公報、特開平7-305089号公報、特開平9-169993号公報、特開平9-20646号公報、特開平6-172781号公報、特開2000-86478号公報、特開平6-40906号公報、特開平7-316582号公報、特開平9-323918号公報、特開平5-286867号公報、特開2000-154394号公報等、様々な技術が開示されている。ところが、いずれも天然植物性香料や植物エッセンス、単品合成香料又は合成香料の併用、天然香料と合成香料の多種併用等、各香料原料の持つ鎮静効果やリフレッシュ効果等に関するものであり、実際の生活において経験する香り、即ち自然に咲く花の香りや果実の香り、化粧品や食品に賦香されている香りについての検討は十分ではなかった。

【0004】例えば、植物から抽出される天然香料の香りは、香料の抽出過程において成分の構成比が変化し、また、回収しきれない香気成分や必要以上に抽出されてしまう成分が存在する。それ故、精油自体は依然として非常に貴重な香料素材として存在するが、自然に存在する植物から感じられる香りとは違った香りに変質してしまっている。また、単体の合成香料については、そのままの香りを嗅ぐ機会は稀である。

【0005】このように従来の天然精油や合成香料の持つ心理生理効果に依存した香料組成物の香りは、その使用者にとってはなじみが薄く、言わば経験したことの無い香りである。また経験したことない香りを嗅ぐことは使用者によっては軽いストレスとなる場合があり、ストレスを解消する目的とは相反する結果を招きかねない危惧があるのが実情であった。

【0006】本発明は上記従来技術の課題に鑑み、これを解消しようとするものであり、多くの人に馴染のある、受け入れられやすい香りであり、かつストレスを解消し、心地よさを向上させる効果を持つ、優れた香料組成物を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明者等は上記従来技術の課題について、多くの人に馴染のある香りであり、かつストレスを解消し、心地よさを向上させる目的に使用できる香料組成物がないか鋭意検討を重ねてきた。その結果、日に干した洗濯物や布団、タオル等を室内に取り込むときに、何とも言われぬ「心地よい暖かな香り」

がすることに注目し、検討を進めた。

【0008】その結果、炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のアルデヒド、ケトン及びアルコール並びに炭素数5～19の飽和又は不飽和の脂肪酸からなる群より選ばれる1種以上の成分と、下記A群より選択される少なくとも1種以上の香料とを組み合わせることによって、洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起でき、かつ心地よさ向上させることのできる香料組成物が得られることを見出し、本発明を完成するに至った。

【0009】A群) ターピネオール、ターピニルアセテート、セビオネット、メチルジヒドロジャスモネット、インドール、2-メチル-3-(3,4-メチレンジオキシ-フェニル)-プロバナール、ヒドロキシシトロネラール、ヒドロキシシトロネロール、p-t-ブチル- α -メチルヒドロシンナミックアルデヒド、4-(4-ヒドロキシ-4-メチルベンチル)-3-シクロヘキセン-1-カルボキシアルデヒド、3-メチル-5-フェニルベンタノール、フェニルエチルアルコール、 α -ヨノン、 β -ヨノン、 γ -メチルヨノン、ジヒドロ- β -ヨノン、ベンジルサリチレート、シス-3-ヘキセニルサリシレート、オイゲノール、シンナミックアルコール、シンナミックアルデヒド、グアイオールアセテート、グアイオール、セドレニルアセテート、セドリルメチルケトン、6,7-ジヒドロ-1,1,2,3,3-ペンタメチル-4(5H)-インダン、ベチバーアセテート、3-メチル-5-(2,3,3-トリメチル-3-シクロベンテン-1-イル)-ペンタン-2-オール、2-エチル-4-(2,3,3-トリメチル-3-シクロベンテン-1-イル)-2-ブテン-1-オール、イソボルニルシクロヘキサノール、ヘリオトロビン、クマリン、バニリン、エチルバニリン、ムスコン、エチレンブラシレート、4,6,6,7,8,8-ヘキサメチル-1,3,4,6,7,8-ヘキサハイドロシクロベンタベンゾピラン、シクロベンタデカノリッド、アンブレットライド、 γ -ウンデカラクトン、 γ -デカラクトン、4-(4-ヒドロキシフェニル)-2-ブタノン、ムスクケトン、スカトール、シスジャスモン、フェニルエチルアセテート、シベトン、 γ -ノナラクトン、 α -サンタロール、 β -サンタロール、オイゲニルアセテート、 α -ヘキシリシンナミックアデヒド、 α -ダマスコン、 β -ダマスコン、 β -ダマセノン、 δ -ダマスコン、ローズアブソリュート、ローズオイル、サンダルウッドオイル、ラブダナムアブソリュート、シストアブソリュート、ベチバーオイル、ガヤックウッドオイル

【0010】即ち、本発明は、炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のアルデヒド、ケトン及びアルコール並びに炭素数5～19の飽和又は不飽和の脂肪酸からなる群より選ばれる1種以上の成分と、上記A群より選択される少なくとも1種以上の香料とを含有する洗濯

乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる香料組成物にある。

【0011】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態について更に詳しく説明する。

【0012】本発明で用いられる、炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のアルデヒドとは、例えば、ベンタナール、ヘキサナール、トランス-2-ヘキサナール、ヘプタナール、トランス-2-ヘプテナール、オクタナール、トランス-2-オクテナール、ノナン、トランス-2-ノネナール、1-デカナール、シス-4-デセナール、ウンデカナール、10-ウンデセナール、ドデカナール、トリデカナール、テトラデカナール、ベンタデカナール等が挙げられるが、これ以外の炭素数5～15の飽和又は不飽和である鎖式の脂肪族アルデヒドも使用できる。

【0013】本発明で用いられる、炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のケトンとは、例えば、2-ベンタノン、2-ヘキサノン、3-ヘキサノン、4-ヘキセン-3-オノン、5-ヘキセン-2-オノン、2-ヘプタノン、3-ヘプタノン、4-ヘプタノン、2-オクタノン、3-オクタノン、2-ノナノン、3-ノナノン、5-ノナノン、トランス-3-ノネン-2-オノン、2-デカノン、3-デカノン、4-デカノン、2-ウンデカノン、6-ウンデカノン、2-ドデカノン、2-トリデカノン、7-トリデカノン、2-テトラデカノン、2-ベンタデカノン等が挙げられるが、これ以外の炭素数5～15の飽和又は不飽和である鎖式の脂肪族ケトンも使用できる。

【0014】本発明で用いられる、炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のアルコールとは、例えば、1-ベンタノール、1-ヘキサノール、2-ヘキサノール、3-ヘキサノール、1-ヘキセン-3-オール、シス-2-ヘキセン-1-オール、トランス-2-ヘキセン-1-オール、シス-3-ヘキセン-1-オール、トランス-3-ヘキセン-1-オール、4-ヘキセン-1-オール、5-ヘキセン-1-オール、1-ヘプタノール、2-ヘプタノール、3-ヘプタノール、1-ヘプテノール、3-オクタノール、2-オクタノール、1-オクタノール、2-オクタノール、1-オクテノール、3-オクテノール、1-ノナノール、2-ノナノール、シス-3-ノネン-1-オール、1-デカノール、2-デカノール、4-デカノール、9-デセン-1-オール、1-ウンデカノール、2-ウンデカノール、10-ウンデセン-1-オール、1-ドデカノール、2-ドデカノール、シス-7-ドセセン-1-オール、1-トリデカノール、1-テトラデカノール、2-テトラデカノール、シス-9-テトラデセン-1-オール、シス-11-テトラデセン-1-オール、1-ベンタデカノール等が挙げられるが、これ以外の炭素数5～15の飽和又は不飽和である鎖式の

脂肪族アルコールも使用できる。

【0015】本発明で用いられる、炭素数5～19の飽和又は不飽和の脂肪酸とは、例えば、ヘキサン酸、トランス-2-ヘキセン酸、トランス-3-ヘキセン酸、5-ヘキセン酸、ヘプタン酸、6-ヘプテン酸、オクタン酸、2-オクテン酸、ノナン酸、デカン酸、ウンデカン酸、10-ウンデセン酸、10-ウンデシン酸、ドデカン酸、シス-5-ドデセン酸、トリデカン酸、テトラデカン酸、シス-9-テトラデセン酸、ペントデカン酸、ヘキサデカン酸、ヘプタデカン酸、オクタデカン酸、ノナデカン酸等が挙げられるが、これ以外の炭素数5～19の飽和又は不飽和である鎖式の脂肪酸も使用できる。

【0016】本発明で炭素数5～15の飽和又は不飽和である脂肪族のアルdehyド、ケトン及びアルコール並びに炭素数5～19の飽和又は不飽和の脂肪酸からなる群より選ばれる1種以上の成分と組み合わせて用いられる、前記A群から選択される少なくとも1種以上の香料は、合成香料、天然香料、ともに特に限定されるものではなく、植物性天然香料から単離されるものと、石炭、石油、天然ガス、油脂等から各種反応によって合成されるもの等が不純物を含んでいても使用できる。植物性天然香料では、植物の花、葉、蕾、果実、種子、樹皮、根茎等に含まれている香氣物質を水蒸気蒸留や溶剤抽出、炭酸ガス超臨界抽出等色々な方法で製造したものが使用できる。

【0017】本発明に係る香料組成物の対象製品としては、例えば香水、オードバルファム、オードトワレ、コロン、デオドラント剤、制汗剤、シャンプー、リンス、ヘアトリートメント、ヘアースタイリングフォーム、ヘアースタイリングブレー、ヘアースタイリングジェル、白髪または黒髪用ヘーカラーリング剤、ヘアリムーバー、石鹼、ボディシャンプー、粉末状入浴剤、液体入浴剤、フェイスローション、フェイスミルク、フェイスクリーム、ボディミルク、ボディイローション、ボディパウダー、日焼け防止剤等の人体用基礎化粧品、パウダーファンデーション、リキッドファンデーション、マスカラ、アイライナー、口紅、リップクリーム、ネイルカラー等の各種メイクアップ化粧品、衣料用洗剤、衣料用柔軟材、衣料用仕上げ剤、衣料用アイロン仕上げ剤、衣料用仕上げ用ノリ（スターチ）剤、ズポンブレッサー用仕上剤、ズポンブレッサー用消臭剤、衣料用消臭剤、衣料洗濯機用洗剤、衣料洗濯乾燥機用洗剤、衣料洗濯乾燥機用仕上剤、衣料乾燥機用仕上剤、靴用洗剤、寝具用洗剤、カーテン用洗剤等の衣料・布・皮用製品、アロマキャンドル、芳香剤、芳香消臭剤、香りつきトイレットペーパー、トイレ用洗剤、台所用食器洗剤、食器洗净機用洗剤、生ごみ処理機専用消臭剤、住宅用洗剤、住宅清掃用不織布、住宅清掃用ワイパー、風呂用洗剤、トイレ用洗剤、掃除機専用消臭剤、掃除機専用ごみバッケ、車洗净用洗剤、車用仕上げ剤（ワックス、コート

剤）、壁・天井用ペイント剤、壁・天井用クロス、カーペット、洋紙・和紙・ビニール・樹脂等の住居・車用製品、洋服、和服、衣類、肌着、寝具、カーテン、椅子用の布・皮革、車内装用の樹脂・布・皮革、室内用スリッパ、靴、帽子、手袋等の生活用品、または菓子類、飲料類、食用油等に用いる食品用のフレーバー等が挙げられる。好ましくは、香水、コロン、入浴剤、キンローション、ボディローション等の人体への香りを主体とした製品である。そして、アロマテラピー用として特に有用である。

【0018】

【実施例】次に本発明を実施例で示し、本発明の効果等を具体的に説明する。

【0019】（試験方法・香り想起試験方法）洗濯乾燥後の清潔な木綿生地から感じられる香りを想起できるかに関しては、香料をクエン酸トリエチルにて10%の濃度に薄め、所定の容器に入れ50名の被験者によりその香りについて、洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できるかどうか下記判定基準にて試験を行った。以下の判定基準の3以上、好ましくは4以上が本発明の効果を達成できるものである。

【0020】（判定基準）

5：洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる人数が45名以上
4：洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる人数が33～44名
3：洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる人数が21～32名
2：洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる人数が11～20名
1：洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起できる人数が10名以下

【0021】（試験方法・心地よさ向上度試験方法－1）香りの心地よさに関しては、次の方法で試験を行った。即ち香料をクエン酸トリエチルにて10質量%の濃度に薄め、所定の容器に入れ50名の被験者により下記判定基準で「心地よさ向上度」を評価した。以下の判定基準の3以上、好ましくは4以上が本発明の効果を達成できるものである。

【0022】（判定基準）

5：心地よいと感じる人数が45名以上
4：心地よいと感じる人数が33～44名
3：心地よいと感じる人数が21～32名
2：心地よいと感じる人数が11～20名
1：心地よいと感じる人数が10名以下

【0023】（試験方法・心地よさ向上度試験方法－2）本発明で用いた心地よさ試験方法－2を以下に記す。工業技術院生命工学工業技術研究所吉田倫幸氏開発の簡易型α波リズムモニターを用い、心地よさを測定した。脳波電極を国際10-20法にしたがいFp1、Fp2

の前頭部2部位に装着、右耳朶をアース、左耳朶を基準電極とし前頭部脳波を記録した。記録された脳波について102.4秒間の平均ゆらぎスペクトルを求め、それぞれの部位について、得られたゆらぎスペクトルから変曲点を求め、変曲点より低周波帯域の傾き係数を算出し、これをゆらぎリズム係数とした。一般に、ゆらぎ係数は-1に近いほど感情状態が良く、快適な心地よい状態であり、0に近づくほど感情状態が悪いことを示していると言われている。そこで、ランクの値に較べて-1方向へ変化した場合に「心地よさが向上した」と評価した。

【0024】本発明で行った心地よさ向上度試験方法-2の試験時の香り呈示方法を以下に記す。香りはクエン酸トリエチルにより10質量%に薄められ、空気の入り口と出口の付いた無臭の20mLガラス容器に1g入れ、空気の入り口より無臭の乾燥空気を毎分1リットルの流量でその容器に入れ、出口より被験者の鼻腔前方約10cmの位置に置かれた75mmφロートに香りを導き、被験者に呈示した。コントロール（ランク）条件の場合は、無臭のガラス容器に無臭の顆粒状活性炭を入

れ無臭空気を呈示した。被験者は実験室に入室後、電極を装着しシールドルーム内に設置された椅子に楽な姿勢で座らせ、その後、実験を開始した。安静閉眼状態でランク条件での脳波を測定し、次に香り呈示条件下で脳波を測定した。

【0025】実施例1～5、比較例1～3

【0026】表1に香料処方A、表2に香料処方B、表3に実施例1～5、比較例1～3の香料組成物の処方を記す。尚、処方量は全て質量%で記してある。実施例1～5、比較例1～3の香料組成物をクエン酸トリエチルにて10質量%に希釈し、試験に供した。

【0027】表3に香り想起試験及び、心地よさ向上度試験方法-1、心地よさ向上度試験方法-2での結果も併記する。表3からも明らかなように、実施例1～5の香料組成物は、洗濯乾燥後の清潔な木綿生地を想起でき、かつ心地よさを向上させることのできることが確認できた。

【0028】

【表1】

香料処方 A			
成分	質量%	成分	質量%
ペンタナール	0.5	5-ヘキセン-1-オール	0.2
ヘキサナール	0.5	1-ヘプタノール	0.5
トランス-2-ヘキセナール	0.5	2-ヘプタノール	0.2
ヘプタナール	0.5	3-ヘプタノール	0.1
トランス-2-ヘプテナール	0.5	1-ヘプテン-3-オール	0.1
オクタナール	1	1-オクタノール	0
トランス-2-オクテナール	0.2	2-オクタノール	0.5
ノナナール	0.1	3-オクタノール	0.2
トランス-2-ノネナール	0.1	1-オクテン-3-オール	0.1
1-デカナール	0.2	1-ノナノール	0.1
シス-4-デセナール	0.1	2-ノナノール	0.1
ウンデカナール	1	シス-3-ノネン-1-オール	0.2
10-ウンデセナール	0.2	1-デカノール	0.5
ドデカナール	0.8	2-デカノール	0.2
トリデカナール	1	4-デカノール	0.1
テトラデカナール	1	9-デセン-1-オール	0.1
ペンタデカナール	1.5	1-ウンデカノール	0.1
2-ペントノン	1	2-ウンデカノール	0.1
2-ヘキサン	1	10-ウンデセン-1-オール	0.5
3-ヘキサン	0.5	1-ドデカノール	0.5
4-ヘキセン-3-オン	0.1	2-ドデカノール	0.5
5-ヘキセン-2-オン	0.2	シス-7-ドデセン-1-オール	0.2
2-ヘプタノン	0.5	1-トリデカノール	0.2
3-ヘプタノン	0.2	1-テトラデカノール	1
4-ヘプタノン	0.2	2-テトラデカノール	0.1
2-オクタノン	1	シス-9-テトラデセン-1-オール	0.2
3-オクタノン	2	シス-11-テトラデセン-1-オール	1
2-ノナノン	1	1-ペントデカノール	2
3-ノナノン	0.5	ヘキサン酸	0.1
5-ノナノン	1	トランス-2-ヘキセン酸	0.1
トランス-3-ノネン-2-オン	0.1	トランス-3-ヘキセン酸	0.1
2-デカノン	1	5-ヘキセン酸	0.1
3-デカノン	0.2	ヘプタン酸	0.1
4-デカノン	1	6-ヘプテン酸	0.1
2-ウンデカノン	1	オクタン酸	0.2
6-ウンデカノン	0.5	2-オクテン酸	0.4
2-ドデカノン	0.3	ノナン酸	0.4
2-トリデカノン	1	デカン酸	0.4
7-トリデカノン	0.2	ウンデカン酸	0.5
2-テトラデカノン	1	10-ウンデセン酸	0.5
2-ペントデカノン	2	10-ウンデシン酸	0.5
1-ペントノール	0.2	ドデカン酸	0.5
1-ヘキサン	0.2	シス-5-ドデセン酸	0.5
2-ヘキサン	0.2	トリデカン酸	0.5
3-ヘキサン	0.1	チララデカン酸	0.5
1-ヘキセン-3-オール	0.1	シス-9-テトラデセン酸	0.5
シス-2-ヘキセン-1-オール	0.1	ペンタデカン酸	1
トランス-2-ヘキセン-1-オール	0.1	ヘキサデカン酸	1
シス-3-ヘキセン-1-オール	1	ヘプタデカン酸	1
トランス-3-ヘキセン-1-オール	0.2	オクタデカン酸	1
4-ヘキセン-1-オール	0.1	ノナデカン酸	1
合計			60

香料処方 B

成分	質量 %	成分	質量 %
ターピネオール	10.00	パニリン	2.00
ターピニルアセテート	2.00	エチルパニリン	0.10
セビオネット	60.00	ムスコン	0.50
メチルジヒドロジャスマネット	250.00	エチレンブランシート	42.00
インドール	0.05	4, 6, 6, 7, 8, 8-ヘキサメチル-1, 3, 4, 6, 7, 8-ヘキサハイドロシクロペニタベンゾピラン	60.00
2-メチル-3-(3, 4-メチレンジオキシフェニル)-プロパンオール	3.00	シクロペンタデカノリッド	20.00
ヒドロキシシトロネラール	20.00	アンブレットライド	1.00
ヒドロキシシトロネロール	10.00	アーワンデカラクトン	0.40
p-t-ブチル- α -メチルヒドロシンナミックアルデヒド	35.00	アーデカラクトン	0.10
4-(4-ヒドロキシ-4-メチルーペンチル)-3-シクロヘキセン-1-カルボキシアルデヒド	75.00	4-(4-ヒドロキシフェニル)-2-ブタノン	0.50
3-メチル-5-フェニルペンタノール	20.00	ムスクケトン	0.10
フェニルエチルアルコール	10.00	スカトール	0.01
α -ヨノン	10.00	シスジャスモン	0.05
β -ヨノン	20.00	フェニルエチルアセテート	0.10
アーメチルヨノン	10.00	シベトン	0.20
ジヒドロ- β -ヨノン	25.00	アーノラクトン	0.05
ベンジルサリチレート	150.00	アーサンタロール	0.20
シス-3-ヘキセニルサリシレート	30.00	ブーサンタロール	0.20
オイゲノール	0.80	オイゲニルアセテート	0.10
シンナミックアルコール	5.00	アーヘキシルシンナミックアルデヒド	20.00
シンナミックアルデヒド	0.50	アーダマスコン	0.04
グアイオールアセテート	1.00	ブーザンタロール	0.02
グアイオール	0.50	ブーダマセノン	0.01
セドレニルアセテート	5.00	ブーザンタロール	0.01
セドリルメチルケトン	30.00	ローズアブソリュート	0.50
6, 7-ジヒドロ-1, 1, 2, 3, 3-ペンタメチル-4(5H)-インダン	2.00	ローズオイル	4.50
ペチバーアセテート	10.00	サンダルウッドオイル	2.00
3-メチル-5-(2, 3, 3-トリメチル-3-シクロペンテン-1-イル)-ベンタシ-2-オール	2.00	ラブダナムアブソリュート	0.05
2-エチル-4-(2, 3, 3-トリメチル-3-シクロペンテン-1-イル)-2-ブテン-1-オール	0.80	シストアブソリュート	0.01
イソポルニルシクロヘキサノール	35.00	ペチバーオイル	0.50
ヘリオトロピン	10.00	ガヤックウッドオイル	0.10
クマリン	2.00	合計	1000.00

[0030]

【表3】

質量 %

	実施例1	実施例2	実施例3	実施例4	実施例5	比較例1	比較例2	比較例3
香料処方 A	0.5	5	10	25	50		50	
香料処方 B	950	950	950	950	950			1000
ジプロビレングリコール	25	25	25	25				
レモンオイル	8	5	5			400	350	
オレンジオイル	4	3	3			200	200	
リナロール	2	2	2			100	100	
リナリルアセテート	2	2	2			100	100	
エチルリナロール	2	2	2			100	100	
ベンジルアセテート	1	1	1			50	50	
ベンジルベンゾエート	5.5	6				50	50	
合計	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
香り想起試験	3	4	4	4	5	1	1	2
心地よさ向上度試験-1	3	4	4	4	5	2	1	3
心地よさ向上度試験-2	未実施	未実施	未実施	心地よさが向上した	心地よさが向上した	心地よさが向上しなかった	心地よさが向上しなかった	心地よさが向上しなかった

【0031】

【発明の効果】本発明により、洗濯乾燥後の清潔な木綿*

* 生地を想起でき、かつ心地よさを向上させることのできる香料組成物が提供される。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.

C 11 B 9/00

識別記号

F I

C 11 B 9/00

テーマコード(参考)

R
S
W
X

F ターム(参考) 4H059 BA12 BA14 BA19 BA20 BA22
 BA23 BA26 BA35 BA36 BA45
 BB02 BB03 BB13 BB14 BB15
 BB18 BB19 BB22 BB24 BB44
 BB45 DA09